

日 時：平成 31 年 3 月 22 日（金） 11:00～12:00

場 所：安城商工会議所 4 階 情報研修室

出席者…委員長：高橋康友（一般社団法人中小企業支援ナビ）  
委 員：榎本秀彦（碧海信用金庫 代理）、  
立見大作・小牧信也（株式会社日本政策金融公庫）、  
籠瀬博敬・柴田昌典・岩月祐一（安城市商工課）  
事務局：岩井初幸・亀岡直樹・吉田央（安城商工会議所）

以上 10 名

## 協議事項

### (1) 平成 30 年度経営発達支援計画事業実施報告について

- 平成 30 年度の経営発達支援計画目標管理と進捗状況、各事業の実施内容について、資料に基づき事務局より説明。

岩井：ABC のものづくり補助金の相談状況はどの程度か。

岩月：現状はちょこちょこ相談がある程度であり、4 月以降に集中するのではと考えている。

岩井：当所の持続化補助金も件数は伸びていない。市販売促進補助金へ流れている部分もある。

立見：安城市の補助金で予算の変更や目玉の補助金などは平成 31 年度にあるのか。

岩月：新規採用のための雇用サイトへの掲載費用の補助が追加されるが、全体の予算額は同額。

岩井：来年度は 10 月に、ものコンを開催するため展示会の目標数はクリアできる。

高橋：事業承継への注力も支援の一つとなっているのか。

岩井：あまり案件が表面に出にくいいため、税理士会等と連携を結んだが情報共有が難しい状況にある。

榎本：碧海信用金庫では、経営者の年齢を見て、こちらから話をしている。待っていても案件数は伸びてこない。税理士からは早期改善計画の案件は上がってくる。これはエンジンがぶら下がっているからであり、エンジンがあると件数も伸びる。

### (2) 伴走型小規模事業者支援推進事業実施状況について

- 平成 30 年度伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告ならびに事業経費状況について、資料に基づき事務局より説明。

立見：ビジネス問題バスターズによる専門家派遣の予算が予算額を下回った理由は何か。

吉田：事業者とのヒアリング時に専門家派遣までいかずに、指導員の対応で済むケースも一部ある。しかし一番の理由としては、補助事業開始が 6 月となり、4 月、5 月の派遣をミラサポなど他の制度を利用したことが大きい。4 月、5 月は例年相談件数も多いため 10 件程度は他の制度で対応したことになる。

岩井：また伴走型小規模事業者支援推進事業は小規模事業者のみが対象であることも件数が伸び悩んだ一つの理由である。

### (3) 平成 31 年度計画内容ならびに見直しについて

- 経営発達支援計画の事業内容ならびに目標数値について、資料に基づき事務局より説明。

岩井：5 ヶ年計画の最終年度となるため大幅な変更はしない予定でいる。平成 32 年度（新元号 2 年度）は計画更新となる。今後の計画では、安城市にも参画していただき事業継続力強化計画を策定する必要がある。

### (4) その他

立見：UNICORN はベンチャー企業特集で J-Startup は世界で戦えるベンチャー企業である。

岩月：がんばる補助金の BCP 策定事業は予算倍増し、件数を増やしていきたい。